

現状・課題

○変化にとんだ地勢と豊かな自然環境
○現代に息づく歴史、多様性に富んだ文化



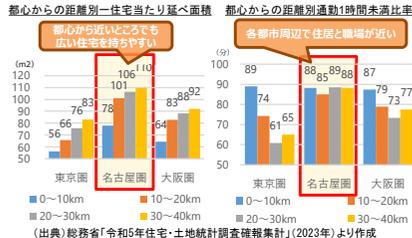
(出典) 写真A0を基に中部地方整備局作成

○多極分散型の地域構造



(出典) 総務省「令和2年度国勢調査」より国土交通省作成

○ゆとりある生活環境



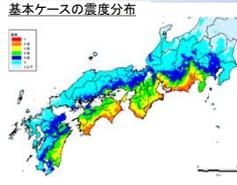
(出典) 総務省「令和5年住宅・土地統計調査確報集計(2023年)より作成

○リニア中間駅を始めとした新たな広域圏形成



(出典) 内閣官房「リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議」もとにより作成

●南海トラフ地震の切迫



南海トラフで発生するM8からM9クラスの地震
30年以内の発生確率
60~90%程度以上※
(2025年1月1日時点)

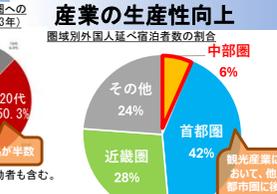
(出典) 中央防災会議防災対策実行会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ

●若者・女性の圏外転出



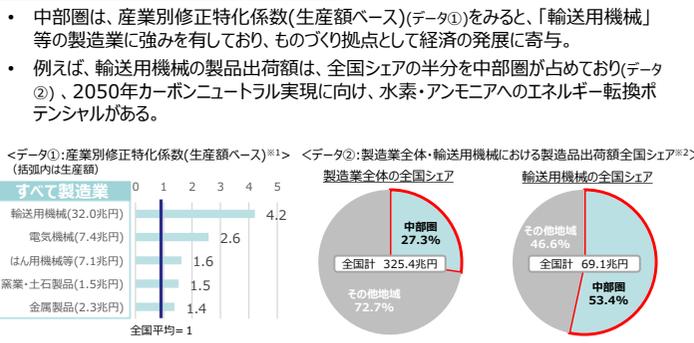
(出典) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成

●訪日外国人対応や観光産業の生産性向上



(出典) 国土交通省 観光庁「宿泊旅行統計調査(年確定値)より中部地方整備局作成

産業等の強みの客観的な把握

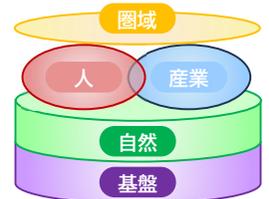


(※1)環境省、(株) 価値総合研究所「地域経済循環分析(2020年試行版Ver.8.0)より作成。産業別修正特化係数は、地域内の産業出荷額のシェアと全国の産業出荷額のシェアを比較し、貿易を考慮した係数であり、同係数が1を超えるものが全国平均よりも強みのある産業(集積している産業)といえる。
(※2)『2023年経済構造実態調査/製造業事業所調査(地域別統計表データ) 令和7(2025)年1月16日訂正』より作成。

将来像・目標

中部圏で暮らす人々のWell-beingを向上するためのビジョン
【目指す中部圏の将来像】 生活の質が高く持続的に成長する強靭な中部圏

- 人々の暮らし 経済を支える産業 日本中央回廊の形成による国際競争力の強化 多様な自然資源を生かした国土管理 災害への備えや適切なインフラ管理
- 【目標1】 すべての地域が魅力あふれる生活圏の創出
 - 【目標2】 ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化
 - 【目標3】 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり
 - 【目標4】 自然の恵みの保全と活用
 - 【目標5】 強靭な圏土の構築



広域連携プロジェクト

1. 暮らしやすさ地域力向上 地域生活圏形成プロジェクト

- 地域の個性を活かしたまちづくりや地域経済強化、関係人口の拡大を推進
- 農林水産業の活性化や地域生活圏の形成による地域力の向上

伊勢地域定住自立圏共生ビジョンのイメージ

3. ひとづくり・つながり構築プロジェクト

- 若者世代や女性、外国人など誰もが輝き活躍する社会、多様な人材を育てる社会の形成
- 地域の担い手の活動の場の確保やコミュニティの再生、官民連携による多様な主体の参画促進

ふじのくにパスポート

2. 快適・安全安心な生活環境実感プロジェクト

- 移動や仕事等の暮らしの様々な場面における効率性や利便性、安全性、地域とのかわりやすさ等の向上
- 誰もが快適で安全・安心な生活を実感できる生活環境の構築

近畿自動車道整備

4. 圏土強靭化プロジェクト

- 産学官民の各機関が連携した防災・減災のハード対策
- 広域のかつ実践的な地震・津波防災訓練等のソフト対策
- 事前防災から復旧・復興までの時間軸を考慮した対策
- ネットワークの多重性及び代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化

伊豆半島自動車道

5. 環境・国土サステナビリティプロジェクト

- ネイチャーポジティブの推進やカーボンニュートラル実現の取組推進
- 人口減少下の適正な国土利用・管理等、国土基盤の高質化(事業例)
- 『矢作川・豊川CNプロジェクト』等、流域総合水管理の取組における再生可能エネルギーの創出 など

矢作川・豊川CNプロジェクトイメージ

6. 世界をリードする産業進化プロジェクト

- 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
- 国際競争に有意な産業構造への転換・基盤強化
- 戦略産業の強化、中堅・中小企業の振興
- 人材の育成・確保や産業を支える基盤の強化

中部圏水素・アンモニアサプライチェーン2030構築

7. 日本中央回廊まなか圏域拡大プロジェクト

- リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造や交通ネットワーク強化による圏域形成強化
- アクセシビリティの良さと住みやすさを活かす選ばれる地域としてのポテンシャル強化(事業例)
- 『名古屋駅ターミナル機能の強化』『リニア岐阜駅(仮称)』及び『リニア長野駅(仮称)』の新設、リニア駅周辺の面的整備 など

名古屋駅ターミナル機能の強化

2050年の中部圏(将来像) イメージ



8. 新時代の観光交流促進プロジェクト

- MICE機能の拡充・強化や 国際的なスタートアップ・エコシステム構築
- マルチモーダルな周遊観光ルートの形成
- 国際的な広域観光交流(事業例)
- 地域ならではの訴求性の高い体験コンテンツの造成、観光地や観光産業の再生と高附加価値化、『豊田』『Central Japan』の名称による北陸圏と連携した広域プロモーションの推進 など

豊田の観光交流促進

9. 他圏域連携プロジェクト

- 大規模災害を見据えた圏土の強靭化
- 日本中央回廊形成を見据えた広域ネットワークの強化
- 太平洋・日本海交流連携の強化(事業例)
- 北陸圏、中部圏の産学官の関係機関が連携した産業進化にむけた半導体に関する人材確保・育成に関する取組「中部地域半導体人材育成等連絡協議会」 など

北陸圏・中部圏の産学官の関係機関が連携した産業進化にむけた半導体に関する人材確保・育成に関する取組

※本資料は、中部圏広域地方計画協議会や、中部圏広域地方計画有識者会議における議論等を踏まえ、令和7年10月時点での検討状況を整理したもの(「事業例」については、今後、計画原案に盛り込む事業の例として整理したもの)。